

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515743(P2000-515743A)

【公表日】平成12年11月28日(2000.11.28)

【出願番号】特願平10-506589

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 0 1 K 67/027

C 1 2 N 5/10

C 1 2 Q 1/02

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 K 67/027

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 7月15日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第506589号

2. 補正をする者

氏名(名称) ノバルティス アクチエンゲゼルシャフト

3. 代理人

住所

〒540-0001

大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル

青山特許事務所

電話 06-6949-1261

FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆

万
審
式
査

4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り。

(別紙)

請 求 の 範 囲

1. Thy-1 プロモーターエレメントに機能的に連結した、スウェーデン変異を含むヒトAPPポリペプチドをコードするポリヌクレオチドからなる組換えDNA構築物 (ただし、スウェーデン変異がAPPポリペプチドに存在する唯一の変異であるとき、Thy-1 プロモーターエレメントは、齧歯類のThy-1 プロモーターエレメントであるものとする)。

2. APPポリペプチドが更にロンドン変異を含む、請求の範囲第1項に記載の組換えDNA構築物。

3. Thy-1 プロモーターエレメントがヒトThy-1 プロモーターエレメントである、請求の範囲第1項または第2項に記載の組換えDNA構築物。

4. AD病状のAPPとtauの両方に関連する特徴を示す、ヒト以外のトランスジェニック動物およびそれらのトランスジェニック細胞。

5. スウェーデン変異のみを含む変異ヒトAPPをコードするDNAを、トランスジーンmRNAの量が内生メッセージの5倍以上を上回るようなレベルで発現する、ヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

6. 変異を2つ含む変異ヒトAPPをコードするDNAを、トランスジーンmRNAの量が内生メッセージの2倍以上を上回るようなレベルで発現する、ヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

7. 2つの変異が、スウェーデン変異およびロンドン変異である、請求の範囲第6項に記載のヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

8. 変異を3つ以上含む変異ヒトAPPをコードするDNAを、トランスジーンmRNAの量が内生メッセージの2倍以上を上回るようなレベルで発現する、ヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

9. スウェーデン変異を含む変異ヒトAPPポリペプチドをコードするDNAが、Thy-1 プロモーターエレメントの転写制御下で発現される、ヒト以外のトランスジェニック動物細胞 (ただし、スウェーデン変異がAPPポリペプチドに

存在する唯一の変異であるとき、Thy-1プロモーターエレメントは、齧歯類のThy-1プロモーターエレメントであるものとする。

10. ヒトAPPポリペプチドが更にロンドン変異を含む、請求の範囲第9項に記載のヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

11. Thy-1プロモーターエレメントがヒトThy-1プロモーターエレメントである、請求の範囲第10項に記載のヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

12. 細胞中で、スウェーデン変異のみを持つヒトAPPをコードするDNAを、トランスジーンmRNAの量が内生メッセージの5倍以上を上回るようなレベルで発現する、ヒト以外のトランスジェニック動物。

13. 細胞中で、変異を2つ持つヒトAPPをコードするDNAを、トランスジーンmRNAの量が内生メッセージの2倍を上回るようなレベルで発現する、ヒト以外のトランスジェニック動物。

14. 2つの変異が、スウェーデン変異およびロンドン変異である、請求の範囲第13項に記載のヒト以外のトランスジェニック動物細胞。

15. スウェーデン変異を含むヒトAPPポリペプチドをコードするDNAが、Thy-1プロモーターエレメントの転写制御下で発現される、ヒト以外のトランスジェニック動物(ただし、スウェーデン変異がAPPポリペプチドに存在する唯一の変異であるとき、Thy-1プロモーターエレメントは、齧歯類のThy-1プロモーターエレメントであるものとする)。

16. APPポリペプチドが更にロンドン変異を含む、請求の範囲第15項に記載のヒト以外のトランスジェニック動物。

17. マウスである、請求の範囲第12項ないし16項に記載のヒト以外のトランスジェニック動物。

18. 該動物が、請求の範囲第1項に記載の組換えDNA構築物をそのゲノムに組込むことにより作られる、ヒト以外のトランスジェニック動物の製法。

19. 請求の範囲第1項に記載の組換えDNA構築物から得られた転写単位をヒト以外の動物胚の前核に注入し、そうして得られた初代トランスジェニック動物を繁殖させることを含む、神経変性疾患病状を発症できるヒト以外のトランスジェニック動物の製法。

20. 請求の範囲第12項ないし17項のいずれか1項に記載のトランスジェニック動物を使用する、または請求の範囲第5項ないし11項に記載の細胞を標的細胞として使用する、特定症状に対する潜在的治療剤の試験法。

21. 該治療剤を請求の範囲第18項または19項に従い製造したヒト以外のトランスジェニック動物に投与する、請求の範囲第20項に記載の方法。

22. 該症状が神経変性疾患である、請求の範囲第20項に記載の方法。

23. 該症状がアルツハイマー病である、請求の範囲第20項に記載の方法。

24. 薬剤を請求の範囲第12項ないし17項のいずれか1項に記載のトランスジェニック動物に投与するか、または請求の範囲第5項ないし11項に記載の細胞と接触させ、そして、 β A4沈積および／またはtauの過リン酸化を測定する、特定症状に対する潜在的治療剤の試験法。

25. 請求の範囲第21項ないし24項のいずれか1項に記載の方法からなる、または含む、スクリーニングまたは特性化アッセイ。

26. 請求の範囲第5項ないし11項のいずれか1項に記載の細胞を含む、スクリーニングアッセイキット。